

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ・第70回厚真町成人式
- ・スケート教室開催
- ・スピードスケート記録会
- ・スケートリンク利用案内
- ・12月定例教育委員会報告
- ・就学援助について
- ・成人式フォトギャラリー
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

若き門出に笑顔あふれる

第70回
厚真町成人式

第70回厚真町成人式が、1月7日に総合福祉センターで開催されました。今年は平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方59人が対象で、43人が出席し、社会人としての第一歩を歩み出しました。

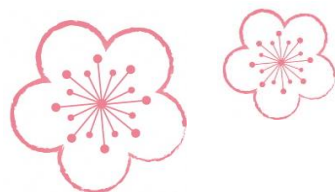
式辞では、遠藤秀明教育長が「自身の夢や目標に向かって臆することなく歩み続ける社会人となってください」と激励しました。

このあと、誓いのことばを桐木彩圭さん(軽舞)、交通安全宣言を森本哲矢さん(本郷)が行い、宮坂尚市朗町長から成人者に厚真町からの記念品が手渡されました。

式典のしめくくりには、成人を代表して山本蒼さん(上厚真)による答辞が述べられ、会場から大きな拍手が送られました。

式典終了後のアトラクションでは、成人者が中学生時代の写真や恩師などからのメッセージを織り交ぜた動画が披露され、これから生きていく新成人者へエールが送られました。

(成人式の様子については、中面でもご紹介していますのでご覧ください。)



出前講座

スケート教室開催

1月12日から16日にかけて、小学生対象のスケート教室が町民スケートリンクを会場に開催され、総勢137人の児童が参加しました。

この教室では、2月に開催される「スケート記録会」に向けて、足の蹴り方や、手の振り方などの基本練習が中心に行われました。

寒空の下、児童は講師の先生に教わりながら、元気いっぱい練習に励んでいました。

厚真町
スピードスケート記録会

次のとおり「第38回スピード厚真町スケート記録会」を開催します。

参加する児童生徒への大きな声援をお願いします。

- ◆日時 2月3日【土】
開会式 午前9時00分
競技開始 午前9時30分
- ◆ところ 町民スケートリンク(新町)
- ◆問合せ 教育委員会社会教育グループ
Tel27-2495

スケートリンク
ご利用ください

町民スケートリンクの利用は次のとおりとなっています。

皆様のご利用をお待ちしています。

- ◆利用期間 2月28日【火】まで
- ◆利用時間 午前9時から午後8時まで
(天候や気温等により変更あり)
- ◆問合せ 教育委員会社会教育グループ
Tel27-3775(スポーツセンター)

就学援助(新入学用品費等)についてのお知らせ

教育委員会では、お子様の小学校・中学校就学にあたり、経済的に困りの世帯に対して、新入学用品及び学用品の購入に必要な経費の援助を本年度から入学前に行います。

- 対象となる世帯 次の要件にすべて該当する世帯
 - ①お子様が平成30年4月に厚真町内の小学校又は中学校に入学予定の世帯
 - ②申請時に厚真町に住民票のある世帯
 - ③経済的に困りの世帯
- 援助時期等 平成30年3月上旬
(保護者の口座に振込みします)
- 申込期限 平成30年2月9日(金)
- 必要書類 ①準要保護児童生徒認定申請書
(教育委員会にあります)
②世帯全員の、平成28年1月から12月までの収入を証明する書類
③印章
④振込先の口座がわかる通帳等
- その他 入学前に申請をしない場合でも、新年度に入り学校へ申請し認定となった場合は、7月に同額の新入学用品等を援助します
- 問合せ 教育委員会 学校教育グループ
☎27-2494
- 援助額
 - 1. 小学生
 - 新入学用品費 40,600円
 - 学用品費 11,420円
 - 2. 中学生
 - 新入学用品費 47,400円
 - 学用品費 22,320円

厚真町育英資金貸付についてのお知らせ

厚真町在住の方の子弟で、大学等に進学された方について、学資金の貸付を行っています。平成30年度の厚真町育英資金新規貸付は、4月から受付を開始いたします。

- 貸付対象者
 - (1) 短期大学、大学、大学院(防衛大学校等は除く)
 - (2) 高等専門学校(第4・5学年)
 - (3) 専修学校専門課程(修業年限が2年以上に限る)
 - (4) 国外において、(1)～(3)に掲げる学校に相当する教育内容を行う学校
- 返済方法 卒業後、6カ月据え置きで、借りた期間の3倍の期間で口座振替等により返済していただきます。
- 選考基準 町育英資金選考基準に基づき、成績、学習意欲、家庭の所得等を考慮し貸付者を決定します。
- 提出書類
 - ①申請書 (教育委員会にあります)
 - ②在学証明書
 - ③成績証明書(最後に在学していた学校の証明書)
 - ④健康診断書(入学後、学校で受けた結果の写し)
 - ⑤課税資料閲覧承諾書(教育委員会にあります)
- 貸付月額 月額6万円を限度とした希望額
- 貸付方法 希望する金融機関の口座(保護者等)に毎月振り込みます。
- 利息 無利息
- 申込・問合せ 教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

12月定例教育委員会

12月27日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

- 報告事項 学校運営協議会の設置及び委員の任命、教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会、平成29年度厚真町児童・生徒体力運動能力調査結果(速報)、スポーツ推進委員会議についてなど(10件)
- 協議事項 平成30年度教育費予算要求内容、厚真町における小中一貫教育の導入児童・生徒の「学習・生活・運動習慣」向上運動の総括と今後の方向性についてなど(4件)
- 議案 厚真町文化財の所有権移転、厚真町新入学用品費等入学前扶助要領の制定について(2件)
- その他 厚真町総合教育会議の開催についてなど(2件)
- 問合せ 教育委員会 学校教育グループ
☎27-2494



誓いの言葉 桐木彩圭さん(軽舞)



交通安全宣言 森本哲矢さん(本郷)



記念品授与 金山綾華さん(宇隆)



答 辞 山本 蒼さん(上厚真)

祝
成人
!



図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

“ビブリオバトル”してみませんか？

何気なく手に取った本がとても面白く、「この思い誰かに伝えたい」と思ったことはありませんか？また、世間的には低評価でも自分にはとても合っていて、「ここを読んでほしいのにな！」と悶える本はありませんか？そんな思いをぶつけ合うのが「ビブリオバトル」です。毎年、地方予選を経て全国大会が開催され、図書館や学校で手軽にできるイベントとして人気があります。

ルールはシンプルで、一人持ち時間5分の間に、紹介する本がいかに素晴らしいか、ここを読んでほしいという思いを伝えます。そのあと3分程度の質問時間があり、参加者全員が発表し終わったところで、どの本が一番読んでみたくなったかを挙手で決める、というものです。

自分では手に取ろうと思わなかった本に出会える点、そんな読み方があるんだと発見できる点がこのイベントの魅力です。もし、興味がありましたら、図書室カウンターまでお気軽に声をかけてください。

第158回 芥川賞・直木賞決定

1月16日、第158回芥川賞・直木賞が発表されました。芥川賞は石井遊佳さん「百年泥」、若竹千佐子さん「おらおらでひとりいぐも」の2人、直木賞は門井慶喜さん「銀河鉄道の父」が受賞しました。

石井さんの「百年泥」は、チェンナイで働く女性が100年に1度の洪水に襲われ、積み重なった泥の中から出てくるさまざまなモノにまつわる物語を追体験していくお話です。また、若竹さんと門井さんの2作品には「宮澤賢治」という共通項があります。「銀河鉄道の父」は文豪・宮澤賢治の父の目線から宮澤家が語られる物語であり、「おらおらでひとりいぐも」のタイトルは宮澤賢治の詩「永訣の朝」の一節と一致しています。文学賞の報道をきっかけとして、ぜひ気軽に本を手にとってみてくださいね。

青少年センターからのお知らせ ～2月の予定～

★プラネタリウム★

●投影日時

- ・毎週火曜日 午後3時30分～
- ・毎週土曜日 午後1時30分～

●投影内容

- 1 冬の星座解説
- 2 4次元で見る宇宙の広がり

★天体観望会★

「冬の星空を見よう」

- と き 2月21日(水)
午後6時30分～午後8時
※天候不良の場合は、プラネタリウムでの星空解説を行います。
- と ころ 青少年センター天文台
※夜間開催のため、小・中学生の参加のは、保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

お問合せ先：教育委員会社会教育グループ

☎ 27-2495



新着図書紹介



ここで紹介した以外にも新着図書がありますので、ぜひ図書室までお越しください。

文芸書

『 駐露全権公使榎本武揚 』

カリンスキイ/著

サハリン在住の作者は別の執筆活動中に知った榎本武揚の数奇な運命に感銘してこの小説を書きました。戊辰戦争後日本初の駐露全権公使としてロシアに渡って活動する榎本武揚が中心ですが、史実ばかりではなく、架空の人物が物語を盛り上げます。



その他の新着文芸書

- ・少数株主 牛島 信/著
- ・俺はエージェント 大沢在昌/著
- ・女子的生活 坂木司/著
- ・葵の残葉 奥山景布子/著

児童書

『 こんぴら狗(いぬ) 』

今井 恭子/著

江戸時代、庶民は旅行を禁止されていましたが、神仙への参拝は認められていました。この本も、よくないことが続いた家庭が飼い犬に託し、金毘羅大権現(今の香川県)まで行って帰ってくるお話です。助けてくれる人もいるし、そうでない人もいる。ムツキお疲れ様。



その他の新しい児童書

- ・五年霊組こわいもの係 12 巻 床丸迷人/作
- ・いやし犬まるこ 輔老心/著
- ・坊ちゃん 夏目漱石/著
- ・緒崎さん家の妖怪事件簿 築山桂/著

実用書

『 奇跡の切り絵 』

長屋 明/著

使う道具はカッターナイフ。紙はコピー用紙。私たちも使っている道具を使って、長屋さんは鉛筆の線、筆のはらいをそのまま切り抜きます。文章では説明しにくいのでぜひご覧いただきたいのですが、20 年やっていればできますとの言葉を信じて挑戦し始めるのもいいかもしれません。



その他の新着実用書

- ・手を洗すぎではいけない 藤田紘一郎/著
- ・エアライン GUIDE BOOK 中西克吉 他/著
- ・マイパブリックとグランドレベル 田中元子/著
- ・ぜんぶもやしれしび きじまりゅうた/著

絵 本

『 おもちおばけ 』

ささきようこ/さく

おもちが大好きなクマさん一家。お汁粉を食べようとおもちをたくさん焼きましたが、おもちがくっついて、おばけになっちゃいました。あずきも食べられ、逃げ出したおもちおばけ。くまさんはどうするの？お汁粉は食べられるの？おもちが食べたくなるお話です。



その他のあたらしいえほん

- ・ねんねのうた えがしらみちこ/さく
- ・へそとりごろべえ 赤羽末吉/詩
- ・もりのやきゅうちーむふあいたーず
ほしのせかいへ 堀川真/絵



～図書室からのお知らせ～



■2月の休館日

- 11 日(日) 建国記念日
- 12 日(月) 振替休日

■青少年センター図書室開館時間

- 午前9時～午後5時(月・水・金・土・日)
- 午前9時～午後7時(火・木)

■厚南会館図書室

- 午前9時～午後5時(月～日)
- ※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

■2月の移動図書

- ・上厚真小学校
2、9、16、23 日(金)
午前10時10分～10時25分
- ・ともいき荘
16 日(金) 午後2時00分～2時30分

■おはなしのびっ子

- 場所：青少年センター 絵本コーナー
- 22 日(木) 午前10時30分～11 時

☆放課後子ども教室☆

新しい1年が始まりました。クリスマスにお正月と楽しいイベントがいっぱいの冬休みは、子どもたちにとって、あっという間に過ぎていったことでしょう。インフルエンザの流行の波に乗ってしまったという子もいたようですが、3学期も元気にたくさん遊んで学ぶ場を作っていきたいと思います。

冬休み期間中、平日の活動はお休みでしたが、昨年末の12月23日（土・祝）に冬休み特別教室を実施しました。豊沢地区にある厚真町の環境保全林（町有林）での森遊びと、お正月の玉飾り作りを行いました。冬の森には子どもたちの好奇心をくすぐるモノがたくさんあります。その匂いを感じ取った子どもたちは、一面雪景色の森を前に遊びたくてウズウズ。森遊びの注意事項を確認して、探検をしながら遊び場になるところへと向かいました。道中、さっそく木を的にした雪玉当てが始まります。太さのある木の幹は初級編。徐々に狙いづらいたくを選んでいき、上級編の細く風に揺れる小枝へとレベルアップしていきます。1人、2人と仲間が増えていき、競い合っただけの雪玉の行方に一喜一憂する姿は、とても可愛らしかったです。森の中にある緩やかな傾斜に囲まれたくぼ地は、開けていて見通しが良く、子どもたちが遊ぶには絶好の環境です。ヤマブドウの強くて長いツルを使ったターザンごっこや枯損木こそんぼくを拾い集めて作る秘密基地は、冬の森遊びの定番となりました。この日は気温も高く、ちょうど良い湿り気のある雪が降り積もっていたので、雪合戦や雪だるま作りも大いに楽しみました。厚真は夜に気温がぐっと下がるせいか、さらさらと固まりにくい雪質になることが多いので、なかなか造形物を作って遊ぶことができません。しかし、この日は簡単には壊せないような巨大な雪玉がいくつもでき、自分の背丈ほどもある雪だるまを作ることもできました。木の枝や落ち葉を集めて顔や手をくっつけたり、基地の入り口にイスやテーブルを作ってみたり、子どもたちの発想力が自然の素材によって形になっていきます。ここには遊び道具があるわけではありません。そんな中でも、目の前にあるものを使って、楽しい遊びを見つけられる子どもたちが、厚真にはしっかりと育っています。スタッフである大人たちも、子どもたちが生み出すエネルギーに引っ張られて活動を展開できたように思います。子どもたちと大人たちのにぎやかな笑い声が響く森の中。空いた小腹を満たす美味しいたき火のおやつ。時間いっぱいまで遊び続けましたが、とても心地よい時間を過ごすことができました。お昼を食べて午後からは工作タイムです。環境保全林からおすそ分けしてもらった木の枝に、色とりどりの飾りを付けて、お正月の玉飾りを作りました。モナカなどで作るまゆ玉の代わりに、今回は毛糸でポンポンを作って飾ることに。見ているだけで癒される、なんとも可愛らしい毛糸は、町内の方が紡いでいるものを使いました。毛糸ポンポンのほか、折り鶴や押し葉のラミネート、鈴やビーズなどを思い思いに飾り付けていきます。来たる2018年も良い年になるように、と願いのこもった玉飾りが出来上がりました。そこには、子どもたちが明るいお正月を迎えられるよう、スタッフ一同の願いもこめられていました。

年は変わりましたが、年度で数えれば残りあと2か月と少し。各学年の集大成である3学期の終わりには、6年生の卒業が待っています。年が明け、6年生と過ごせる時間も残りわずかだという実感が少しずつわいてきました。春が来るのが待ち遠しいような、来てほしくないような複雑な心模様です。今年度も気持ち良く終われるよう、体は軽やかに、心は穏やかに3学期も楽しみたいと思います。

